

第7回 (令和7年12月) プログラミング技能検定試験 4級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

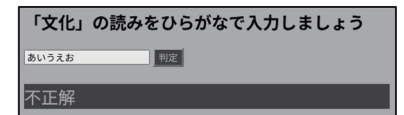
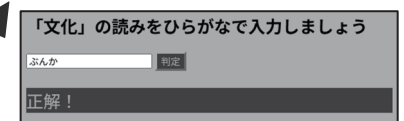
<前提>

入力された文字が答えと合っているか判定し、結果を表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
漢字の読みを学習しよう
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.png にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
「文化」の読みをひらがなで入力しましょう
 - (4) 【フォーム】のブロックセット（テキスト・ボタン）を挿入しなさい。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。

<作成ページ例>

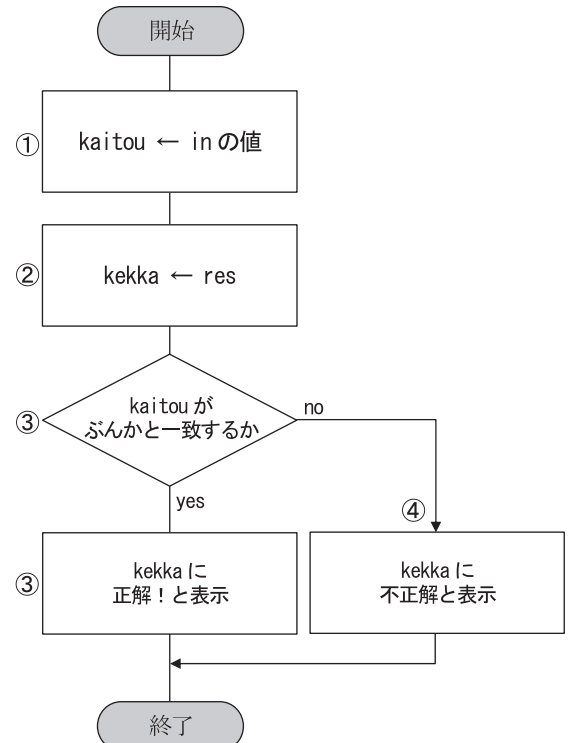


3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

- ・フォームのボタンが押されたら判定結果を表示する。
- ・フォームのテキスト (in) に入力された文字が合っているかどうか判定する。(答え「ぶんか」と一致した場合「正解!」と表示し、一致しなかった場合「不正解」と表示する。)
- ・表示先は2-(5)の位置とする。

<フローチャート>



- (1) 【スクリプト・関数】ブロックを挿入しなさい。
- (2) 【部品】内のブロックをすべて用いて、(1)の<function>ブロックの中に下記処理手順どおりに組み立てなさい。

■処理手順

- ① フォームのテキスト (in) の値を取得し、「kaitou」に設定する。
- ② 結果の文字を表示させる場所 (res) の情報を取得し、「kekka」に設定する。
- ③ もし「kaitou」が「ぶんか」と一致した場合、「正解!」の文字を「kekka」の場所に表示する。
- ④ それ以外の場合、「不正解」の文字を「kekka」の場所に表示する。

第7回 (令和7年12月) プログラミング技能検定試験 3級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。

2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

レンタル品を含めた金額に応じて割引額を減算し、表示させるページを作成する。

<処理条件>

- 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
- <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
ボルダリングの体験レッスン
 - 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.jpg にしなさい。
 - 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
レンタル品を選択
 - 【フォーム】のブロックセット（チェックボックス・ボタン）を挿入しなさい。
 - 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。

<作成ページ例>

ボルダリングの体験レッスン

Trial lesson
ボルダリング
¥2,400

Rental
・クライミングシューズ ¥400
・スポーツウェア ¥600

Campaign
¥3,000以上で¥300割引

レンタル品を選択

☐ クライミングシューズ (400円)
☐ スポーツウェア (600円)
合計

レンタル品を選択

☐ クライミングシューズ (400円)
☐ スポーツウェア (600円)
合計

2400円

レンタル品を選択

☒ クライミングシューズ (400円)
☐ スポーツウェア (600円)
合計

2800円

レンタル品を選択

☐ クライミングシューズ (400円)
☒ スポーツウェア (600円)
合計

2700円

レンタル品を選択

☒ クライミングシューズ (400円)
☒ スポーツウェア (600円)
合計

3100円

3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

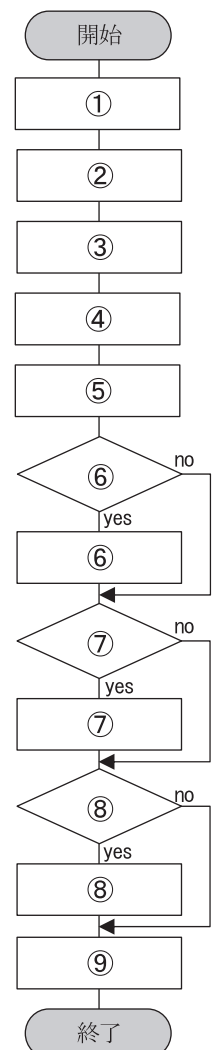
- 体験レッスンの料金、フォームのチェックボックスでチェックされた項目の金額を合計し、その金額を表示する。
- 体験レッスンは2400円、クライミングシューズ (ch1) は400円、スポーツウェア (ch2) は600円とする。
- 合計金額が3000円以上の場合、合計金額から300円を減算する。
- 合計金額を表示する。表示先は2-(5)の位置とする。

- 【スクリプト・関数】ブロックを挿入しなさい。
- 【部品】内のブロックをすべて用いて、(1)の<function>ブロックの中に下記処理手順どおりに組み立てなさい。下線部分の比較演算子は処理手順通りに設定すること。

■処理手順

- 変数 re1 を宣言し、id (ch1) のチェック結果を取得し、代入
- 変数 re2 を宣言し、id (ch2) のチェック結果を取得し、代入
- 変数 kekka を宣言し、id (res) の場所を取得し代入
- 変数 goukei を宣言し、2400 を代入
- 変数 waribiki を宣言し、0 を代入
- re1 が true の場合、goukei に 400 を加算して代入
- re2 が true の場合、goukei に 600 を加算して代入
- goukei が 3000 以上の場合、waribiki に 300 を代入
- kekka の場所にある HTML に以下の変数・文字列を結合して代入
goukei - waribiki + 「円」

<フローチャート>



第7回 (令和7年12月) プログラミング技能検定試験 2級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

重量が21グラムになるように重り(3グラム)の数を入力し、入力された分、重量を加算し続け、その結果に応じた画像を表示させるページを作成する。

<処理条件>

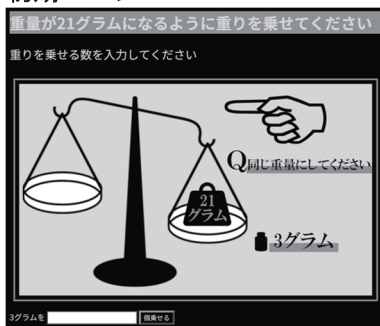
1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
重量が21グラムになるように重りを乗せてください
 - (2) 【段落】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
重りを乗せる数を入力してください
 - (3) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.png にしなさい。id名は res。
 - (4) 【フォーム】から<form>ブロックを選択・挿入し、その中に下記のブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - ① 【表示文字】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
3グラムを
 - ② 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id名は count。
 - ③ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。valueは個乗せる、onclickは関数名wei、引数は3。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

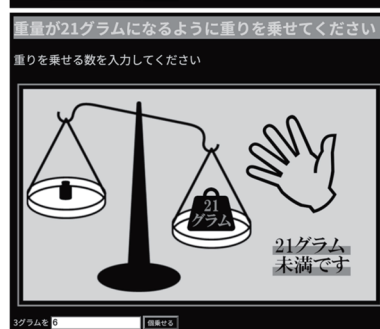
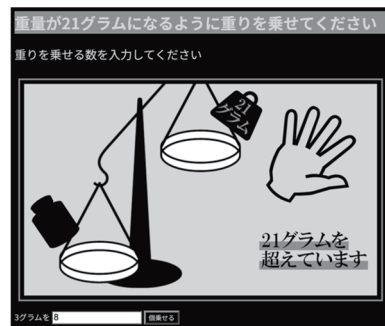
- ・フォームの数値入力欄の値の回数分3グラム(ボタンの引数使用)の加算を繰り返し、重さを求める。
重さの目標値: 21グラム
- ・重さを条件によって判定し、それぞれの画像に変更する。
重さが21: 画像 01.png (成功) 重さが21より大きい: 画像 02.png (21グラムを超えています)
それ以外: 画像 03.png (21グラム未満です)
- ・入力値は整数以外を想定しない。
- ・フォームのボタンが押されたら結果を表示する。表示先は2-(3)の位置とする。

<作成ページ例>

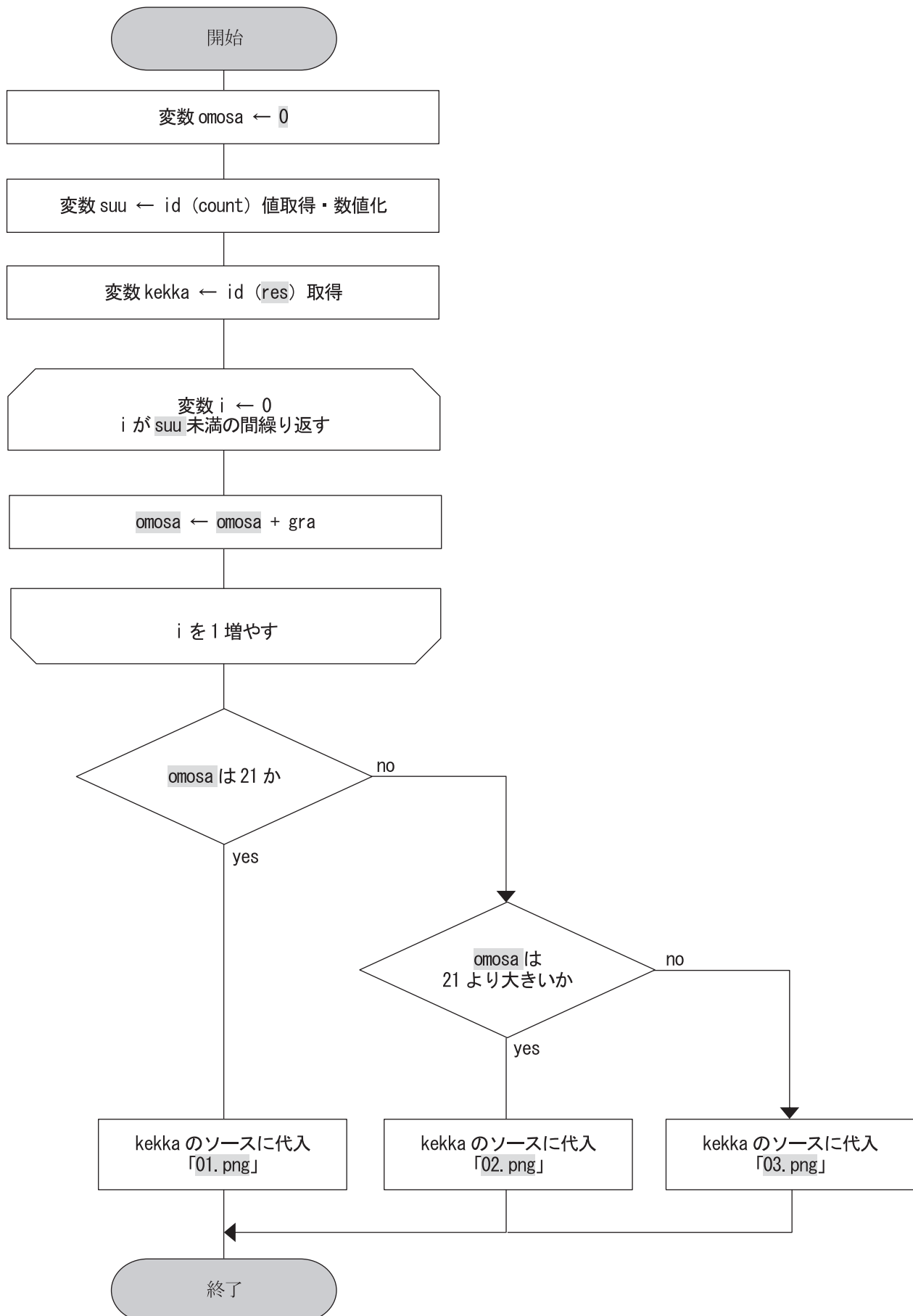
初期ページ



結果表示例



- (1) 【スクリプト】・【関数】ブロックを挿入し、2ー(4)ー③で指定した関数名、引数「**gra**」を入力しなさい。
- (2) 【部品】内から正しいブロックを選択し、(1)の関数ブロックの中に下記フローチャートどおりに組み立てなさい。条件式内の比較演算子は正しく動くように設定すること。



第7回 (令和7年12月) プログラミング技能検定試験 1級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

商品購入ページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

購入する数量を入力してください
 - (2) 【フォーム】から<form>ブロックを選択・挿入し、その中に下記のブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - ① 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を tea.png にしなさい。
 - ② 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id名は tea。
 - ③ 【改行】ブロックを挿入しなさい。
 - ④ 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を cof.png にしなさい。
 - ⑤ 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id名は cof。
 - ⑥ 【改行】ブロックを挿入しなさい。
 - ⑦ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。valueは通常購入、onclickは関数名 pu。
 - ⑧ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。valueはクーポン利用、onclickは関数名 co。
 - (3) 【段落】ブロックを挿入し、id名を res にしなさい。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[アプリ仕様書]

● 概要

Web ページに商品購入機能を実装する。画面の数値入力欄に入力された二つの数値を、押されたボタンによって、通常購入時の金額、クーポン利用時の金額を計算し、結果表示する。

● 条件

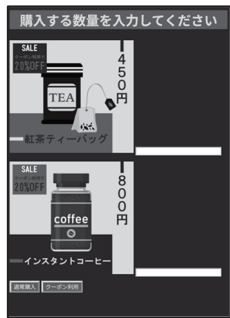
- ・ 各数値入力欄の値は、数値変換を行って処理。
- ・ 各数値入力欄に0より小さい値が入力された状態で処理した場合「入力エラー」と表示。
- ・ 紅茶450円、コーヒー800円とし、紅茶の購入数に450を乗算した値とコーヒーの購入数に800を乗算した値を足し合わせる関数を用意する。
- ・ 「通常購入」が押されたら関数を呼び出し「通常購入で〇円です」と表示。
- ・ 「クーポン利用」が押されたら関数を呼び出し80%を乗算した値を「クーポン利用で〇円です」と表示。
- ・ 入力値は整数以外を想定しない。
- ・ 結果は段落(res)に表示。

● 検証値

入力(tea)	入力(cof)	ボタン	段落表示文字
-1	0	通常購入	入力エラー
0	-1	通常購入	入力エラー
0	0	通常購入	通常購入で0円です
2	1	通常購入	通常購入で1700円です
-1	0	クーポン利用	入力エラー
0	-1	クーポン利用	入力エラー
0	0	クーポン利用	クーポン利用で0円です
2	1	クーポン利用	クーポン利用で1360円です

<作成ページ例>

初期ページ



結果表示例

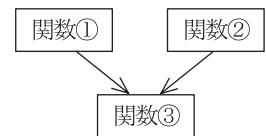


- (1) 【スクリプト】ブロックを挿入しなさい。
- (2) 下記関数定義・変数定義・論理部フローチャートを基にブロックを組み立てなさい。【部品】内から正しいブロックを選択し、組み立て、条件式内の比較演算子は正しく動くように設定すること。

<関数定義> 関数定義をもとに【関数】ブロックを3つ挿入し、下記の設定をしなさい。

- ① 2-(2)-⑦で指定した関数名とし、計算のための関数③を呼び出して処理する。
- ② 2-(2)-⑧で指定した関数名とし、計算のための関数③を呼び出して処理する。
- ③ 関数名「calc」、引数を「a」、「b」とし、それらの引数を用いて処理し、結果を返す。

依存関係図



<変数定義>

(関数①・②)

suu1: 数値入力欄 (tea) に入力された値を格納

suu2: 数値入力欄 (cof) に入力された値を格納

kekka: 結果を表示するための場所 (res) を取得

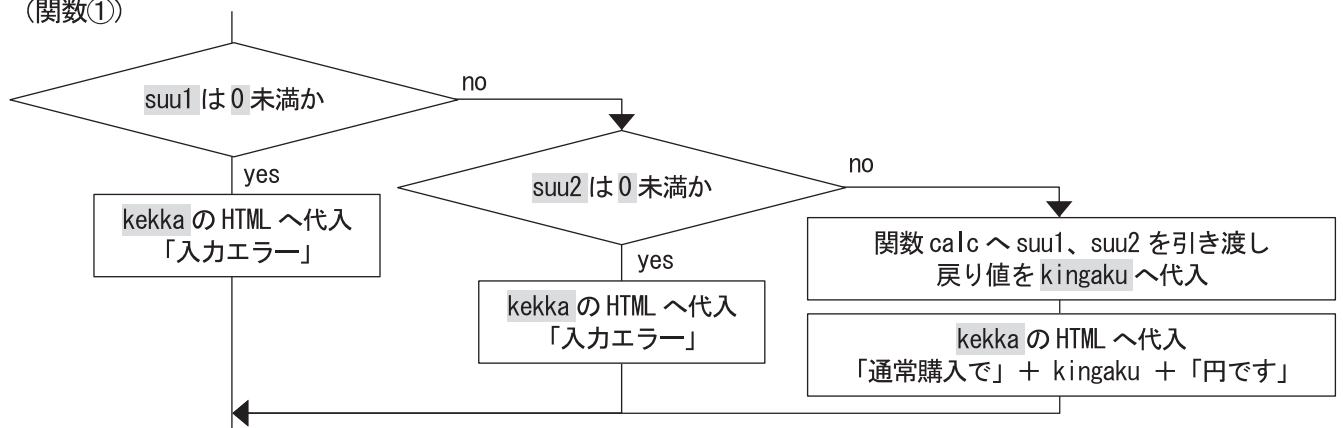
kingaku: 宣言のみ・代入値なし (表示する金額部分を格納することを想定)

(関数③)

keisan: $450 \times a + 800 \times b$ の結果を代入 ※keisan を戻り値とする。

<論理部フローチャート>

(関数①)



(関数②)

